



岩江中だより

第 12 号

発行日：平成27年 6月22日

発行：三春町立岩江中学校

電話：0247-62-8290

FAX：0247-62-8380

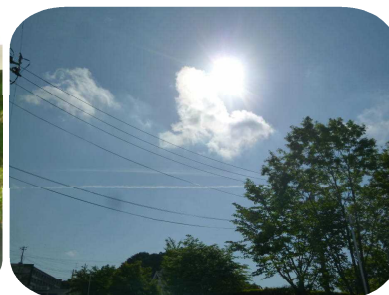
E-mail: school@iwae-ifs.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～

【通学路の除染作業が始まります。 ～ご理解・ご協力をよろしくお願いします。～】

6月22日（月）から8月末日の計画で、岩江中学校前道路、岩江小学校前道路の除染作業が始まります。作業時間は、平日と土曜日を中心とした8：30～17：00の間に、側溝、集水枡、歩道、法面の堆積物の除去作業を行います。

作業にご協力いただきますと共に、工事・作業車両等との事故には十分ご注意くださいすようよろしくお願いいたします。



【シートベルト着用を励行します！ ～シートベルト着用月間です。～】

毎日、横断歩道を通り、子どもたちのためにスピードを落としたり停車したりしていただけるみなさん、本当にありがとうございます。現在も、将来にわたっても、交通道德やルールを主体的に守れる交通安全推進者を育てるよう共に働きかけてまいりましょう。

6月は、“いざ”というとき命を守ってくれるシートベルトやチャイルドシートの大切さについて考え、全席着用に取り組む「シートベルト着用月間」です。前席はもちろん、後部座席もシートベルトを着用して安全な登下校を心がけましょう。

「シートベルト着用強化月間」の実施について

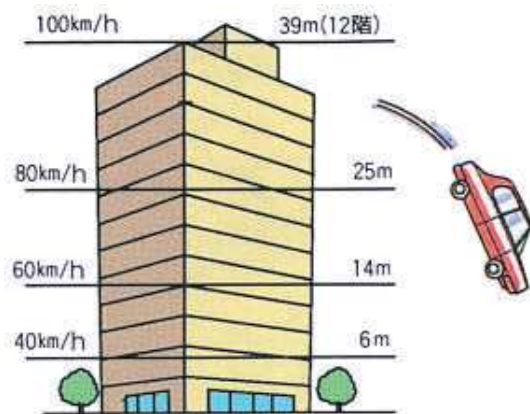
- 1 目 的 県民にシートベルトとチャイルドシートの着用の必要性及び効果についてを訴えるとともに、正しい着用の徹底を呼びかけ、着用率100パーセントを目指すことにより、交通安全意識の向上と交通事故による被害の防止・軽減を図ることを目的に実施します。
- 2 実施期間等 実施期間…平成27年6月1日（月）～6月30日（火）までの1か月間
県下一斉広報強化日…6月1日（月）、6月19日（金）

〔シートベルトの効果〕

シートベルトは、何のため、誰のためにあるのでしょうか？交通死亡事故を見てみると、衝突の衝撃で車外に放出されて亡くなる場合のほか、正しく着用していないために車内のハンドル、ドア、ガラス、座席、計器盤等に衝突して亡くなるというケースも見られます。しかし、死傷等の別では、大きな交通事故になるほど、事故当事者のシートベルトの着用率が低下しています。

- ・軽傷事故の着用率 95.5%
- ・重傷事故の着用率 78.6%
- ・死亡事故の着用率 52.7%

車が衝突した時、人間の手足で支えられるのは、体重の3倍が限度で、車の速度にすれば**時速7km程度**です。時速100kmのスピードで衝突した



場合は、地上12階建てのビルの屋上から転落したときの衝撃力と同じとされています。

“もしもの時”のために、日頃の全席シートベルト着用の習慣を子どもたちにもお伝えください。学校においても指導を継続してまいります。

【次の目標を見すえて！ ～駅伝大会、合唱コンクールはもう始まっています。～】

毎朝7時10分頃出勤すると、いつもは静かな生徒昇降口がこのところ賑やかです。支部陸上大会前もそうでしたが、子どもたちは、田村支部駅伝大会を見すえ、中体連総合大会・県中大会が終わった直後から、駅伝の練習を始めています。

男子も女子も一生懸命汗を流し、“積み重ねと繰り返し”を大切と心得、練習に取り組みます。自ら登校してくる生徒以外は、保護者のみなさんの送迎でやってまいります。感謝申し上げますと共に、子どもたちのこの努力がきちんと実を結びますよう、指導してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

一方、音楽室では、8月20日を皮切りに開催される合唱コンクール・各種音楽祭の練習が進められています。岩江中学校はもちろん、運動だけではなく、音楽・美術等の文化面にも一生懸命取り組んでいます。

今年度は、技能教科においても、免許をもった専門の先生が指導くださり、子どもたちのもつさまざまな能力を引き出そうと取り組んでいます。文化面でも、『私にはこれがある』を見つけさせるよう働きかけてまいります。



【優しい笑顔が目には浮かびます！ ～人を思い、人とつながる。～】

放課後の校舎を回っていると、3年生の教室の小さなホワイトボードが目にとまりました。

卓球部が出場した中体連県中大会の翌日だったと思います。「卓球部お疲れ様でした。今日も一日がんばりましょう。」とイラストの吹き出しに書かれていました。後日のボードにも、「今日も一日がんばろう。」と書かれていました。

クラスみんなのことに心を配り、自分のことで精一杯になりがちな思春期という難しい時期にもかかわらず、相手のことを思いやることのできる生徒が確かに岩江中学校にいることをとてもうれしく思いました。



【優しい笑顔が目には浮かびます！ ～人を思い、人とつながる。～】

みんなが安心して生活できる学級・学校づくりのためには、学びの環境づくりが大切だというお話は、たびたび学校だよりでもお伝えしているところです。通学路のプランターの花々ももちろんその一つであります。学びの場の中心である各教室の“学びの環境づくり”こそ最も大切な取り組みの一つです。

教室をめぐる歩くと、教科教室型の岩江中学校では、教科の特質を生かした掲示が充実していることは当然ですが、教室の前面には、各種たよりやお知らせが整然と掲示されていました。

担任の先生と共に、クラス全員が協力し合い、まとまって、落ち着いた生活を送っていくことは、結果として、日々の生活への満足感・充実感や進路の実現へとつながっていきます。一人ひとりのこころがけを大切にしていきましょう。

